



登壇者

中根成寿（立命館大学）
五嶋 仁（株式会社リビングスケイプ）
高杉公人（新見公立大学）
島崎義弘（今治市社会福祉協議会関前支部）
木村彰裕（宮崎福祉医療カレッジ）
蠣原隆弘（宮崎市木花・青島地区地域包括支援センター）
田中祐貴（宮崎福祉医療カレッジ社会福祉士学科在学中）
空閑浩人（ソ教連常務理事・同志社大学）
伊藤新一郎（ソ教連事務局長・北星学園大学）
※順不同・敬称略

申込



[ソ教連マナブル](#)より申込！（要登録）
登録方法は[こちら](#)（PDF）

お問い合わせ

一般社団法人
日本ソーシャルワーク教育学校連盟
東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6 階
TEL：03-5495-7242

[お問い合わせフォーム](#)

日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催

ソーシャルワーク実習教育 の充実に資する ICT の活用に関する研修

後援：日本ソーシャルワーカー連盟

（日本社会福祉士会・日本精神保健福祉士協会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本ソーシャルワーカー協会）

日時等

- ◆日時◆ 2025年3月23日（日）13：00～16：40
- ◆場所◆ オンライン（Zoom）
- ◆対象者◆ 養成校教員・職員、実習指導者、実習におけるICTの活用に関心のある方
- ◆参加費◆ 3,300円（税込）
- ◆申込◆ ソ教連オンライン研修システム manaable（マナブル）より

詳細

地方創生や地域共生社会の実現に貢献するソーシャルワーカー養成のためには、先進的な取り組みを行っている地域での実習や学生の出身地での実習など、通っている学校から遠方の地域での実習および実習指導の充実が求められます。本連盟では、2022（令和4）年に「平常時の社会福祉士養成課程におけるICT活用方法の検証に関する調査研究事業」（厚生労働省令和4年度社会福祉推進事業）を実施しました。

そして、その結果を踏まえて、2023（令和5）年には「ソーシャルワーク実習・実習指導におけるICT活用のガイドライン」が、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課より発出されました。そこには、養成校におけるICT活用に関する全般的な事項をはじめ、巡回および帰校日指導のオンラインを実施するための条件や、実習記録の電子化、指導上の留意事項が記されています。

今回の研修では、**現在ICTを導入しての実習や実習指導を行っている複数の養成校と実習先施設・機関から、それぞれの具体的な取り組み内容およびその効果や課題等についてご報告頂きます。**そして、それらの報告を聞きながら、**ソーシャルワーク実習教育における一層の質の向上を図ることを目的としたICTの導入や活用について、参加者の皆様とともに学び、考えたい**と思います。養成校の教員だけでなく、実習生を受け入れる実習先の実習指導者の皆様にも参考となるような内容にしたいと思っています。ソーシャルワーク実習教育やソーシャルワーカー養成に関係する多くの方々のご参加をお待ちしています。

★ 養成校の教職員以外も、社会福祉士・精神保健福祉士の実習指導者、ソーシャルワーク実践者の参加も歓迎します！

★ Zoomによるオンライン開催のため、全国どこからでも参加が可能です！

★ 参 考 (いずれも本連盟ウェブサイト掲載 pdf)



「社会福祉士学校及び介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針について」(通知)

「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」(通知)

「大学等において開講する社会福祉に関する科目の確認に係る指針について」(通知)

「ソーシャルワーク実習・実習指導におけるICT活用のガイドライン」について(事務連絡)

◆タイムテーブル◆

時間	プログラム等	担当・登壇者
13:00-13:10	開会挨拶・趣旨説明	空閑浩人(ソ教連常務理事・同志社大学)
13:10-14:10	(仮)ソーシャルワーク実習におけるキントーンの活用～京都北部福祉フィールドワークの取り組みから～	中根成寿(立命館大学) 五嶋 仁(株式会社リビングスケイプ)
14:10-14:20	休憩	
14:20-15:20	(仮)ソーシャルワーク実習における実習支援システムの活用～離島での実習を例に～	高杉公人(新見公立大学) 島崎義弘(今治市社会福祉協議会関前支部)
15:20-15:30	休憩	
15:30-16:30	(仮)ソーシャルワーク実習における実習支援システムの活用～一般養成施設の場合～	木村彰裕(宮崎福祉医療カレッジ) 蠣原隆弘(宮崎市木花・青島地区地域包括支援センター) 田中祐貴(宮崎福祉医療カレッジ社会福祉士学科在学中)
16:30-16:40	まとめ・閉会挨拶	伊藤新一郎(ソ教連事務局長・北星学園大学)

